



心

高幡会だより

こころ 49 2016.11



私達は、地域において必要とされる 病院・施設・事業所を目指します。



日本医療評価機構認定病院 大西病院 <http://www.oonishi-hp.or.jp/>

冬の足音



樹々も色づきはじめ、川面を渡る風が肌寒く感じます。
週末出かけた先でふとシャッターを切ってみました。本格的な冬の足音がすぐそこに聞こえてきます。



(四万十川にて)

第22回 高幡会夏まつり



8月6日 恒例の高幡会夏まつりが、盛大に開催された。



当日は、天気にも恵まれ、今年も1000人以上のご来場を頂き、ありがとうございました。



大盛況の内に無事フィナーレとなりました。この場をお借りして御協力いただいたボランティアの方々に深く御礼申し上げます。

音楽療法



10月31日 日本臨床心理研究所所長の松井紀和先生が来られて音楽療法を行いました。音楽療法とは、音楽や歌を用いて脳活性化や、身体機能の向上、精神面に対するケアを目的として行われます。

大西病院、老人保険施設あけぼの、通所リハビリテーション、サービス付き高齢者住宅ひなたをご利用いただいている方、約100名が参加されました。



童謡や歌謡曲などに合わせ楽器を使用することで、体全体を動かすことができていました。生き生きとした表情が見られ、昔を懐かしむ話が聞かれました。2時間程度でしたが、歌ったり踊ったりと参加者・職員ともに楽しい時間を過ごすことができました。

第22回 医療法人高幡会

第05回 社会福祉法人高幡福祉会 合同研修会

10月21日 全体研修会が実施された。



指さし呼称確認、再び流行の兆しを見せている疥癬について、介護に携わる方の腰痛問題など、基本的・具体的そして適時的な内容で参加した全職員にとって身近で興味深いものでした。

栄養サポートチーム研修会

東京医科歯科大学で、8月6日～9日に行われた「第9回栄養サポートチーム研修」に看護部2名と管理栄養士1名が参加させていただきました。
その院内伝達研修会を看護部とともに10月17日に行いました。



栄養管理は疾病治療において必要不可欠であり、治療を行う上では、多職種で情報共有を行い同じ目的をもって取り組むことが大切です。
今後、研修で学んだ事を職員全員で協力し、よりよい医療を提供できるよう取り組みたいと思います。

管理栄養士 石丸 翔太

消防訓練

11月24日 夜間火災発生の想定で消防避難訓練を実施した。



四万十清流消防署からは総評で、おおむね迅速に避難できているが、

- 消火器が、最寄りの場所はもとより建物内のどこにあるか、位置を把握しておく事
- もっと大きな声を出して、周りに知らせて避難活動を行うように。
特に夜間は人数が少ないのでなおさら。の指摘があった。

また高幡会理事長から、

- 職員が避難を呼びかける時、具体性に欠ける。
どこで火災が発生し、どうしたらよいかより具体的に呼びかけるように。
- 当直の医師に確実に連絡する事と注意があった。

その後、消火器・消火栓を使用した初期消火の訓練を実施



消火器の実技にて

- ピンを先に抜いて消火器を持ち運ぶとレバーを握ってしまい消火するまでに薬剤を放出してしまう事も有るので、消火の直前にピンを解除する事
- 自分の目の高さ位の炎となった場合は、もはや消火は困難であるので速やかに避難する事のアドバイスを頂きました。

炊き出し訓練

避難訓練に合わせて、非常用保存食のデモンストレーションを実施



非常用保存食アルファ米
炊き出しセットわかめごはん



お湯を入れて密封し15分経過すると
50人分のご飯ができるというものです



実際に食べてみた感想は、

「ほんわり暖かく普通のご飯と変わらない」

「思っていたものと違い違和感なくおいしいです」

「非常用食と言われなければ分からないと思う」など、

非常食もどんどん進化し、“冷たくて固くて、おいしくないけれど仕方ない”といった過去のイメージを払拭してくれる物でした。

消防設備点検

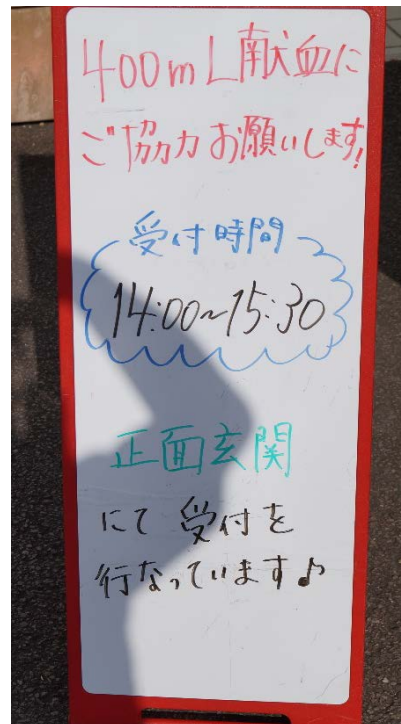
同日、防火設備（スプリンクラー・防煙カーテン・防火扉・排煙窓 等）の点検と確認を高幡会職員立ち合いのもと専門業者に実施して頂く。



これからも、高幡会は、皆様に安心して御利用したいいただける施設運用を心がけてまいります。よろしくお願いいたします。

大西病院に献血バスがやってきました！

11月17日 高知県赤十字血液センターから献血バスがやってきました。



今回、400mLのみの受付となっています。

血液センターの方にお話を伺ったところ、「医療機関からの需要は、200mL 献血由来の血液より、400mL 献血由来の血液が圧倒的に高いです。その理由は、輸血を受ける患者さんの負担軽減と副作用発生のリスク低減のためです」との事。

400mL 献血は、200mL と比べて献血基準が厳しく、職員の中には志はあるものの、断念された方もいました。



職員16名の献血が行われました。

あらためて献血について切実に考える良い機会になりました。病院に勤めている者である以上、これからもより積極的に協力しなければならぬと思います。

救急シミュレーション発表会に参加して

11月17日 四万十清流署にて、看護師2名で、救急シミュレーション発表会に参加しました。



救急隊が、医師・患者・家族に扮してそれぞれのシチュエーションを演じ、普段病院ではなかなか経験する事の無い救急現場での、問診・処置・対応、受け入れ先病院との連携などの実演を通じて勉強させていただき、大変参考になりました。



この経験を活かし、いざという時に迅速的確な対応ができるよう心掛けてまいります。

看護部外来 木村 志保

秋のちらし寿司

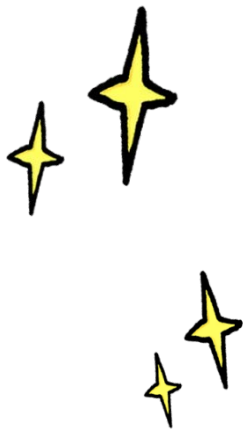


お粥の方にもお寿司ゼリーにして提供しました。

「おいしい!」という声をたくさん頂きました。

ようかん風あんみつ

通所リハビリテーション
手作りおやつ
平成28年9月30日(金)



ようかんをカップから
取り出し・・・

盛り付けて・・・



皆さん楽しんで作ってくれました♪



完成です！

「おいしい！」という声を
たくさん頂きました！



デイサービスひなた便り

10月に入り、季節はすっかり秋らしくなり、デイサービスひなたでは、“芸術の秋!!” にぴったりな絵手紙を描きました。字でも筆で書くとその人らしさが出てきます。「これは、難しいねえ。」と言いながらも画家の如く、筆が進みます。



「さて次は、色を塗りましょう。」と言うと、「これは困った。」の聲があちらこちらで聞かれましたが、利用者様の人柄が感じられる世界に一つしかない芸術作品が完成しました。



さて次は、
色を塗りましょう



インフルエンザ予防接種のご案内

高知県でインフルエンザの患者が増加しています。

インフルエンザを予防する方法として、流行前のワクチン接種が有効です。当院で、下記の要領でインフルエンザの予防接種を行います。

●実施期間

平成 28 年 10 月 1 日～

●接種量と回数

6 カ月 ～3 歳未満 0.25ml (1 回接種量) を 2 回

3 歳以上～13 歳未満 0.5ml (1 回接種量) を 2 回

※2～4 週間の間隔をおいて 2 回接種

13 歳以上 0.5ml (1 回接種量) を 1 回 (希望により 2 回接種可)

※1 回目と 2 回目の間隔は、およそ 1～4 週間あけて接種

●接種料金 (税込)

大人 3,000 円 / 1 回

小児 2,500 円 / 1 回

※なお 65 歳以上の方は、個人負担 1,100 円にて接種できます

●接種日

【小児科】

○火・水・金曜日 13:00～ (完全予約制)

○土曜日 9:00～ (完全予約制)

【内科】

○ 平日一般診療時間内 9:00～12:00

ご予約、ご不明な点は電話または受付にてお問い合わせください。

TEL 0880-22-1191



皆様からの「投稿」をお待ちしております。
病院へのご意見・ご質問、広報誌へのご感想
ご意見などをお寄せください。

〒786-0007
高知県高岡郡四万十町古市町 6 番 12 号
TEL.0880-22-1191 / FAX 0880-22-1250
✉ e-mail : info@oonishi-hp.or.jp